

## 再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応(No.6-22)

<b>件名</b>	グローブ交換作業時における汚染						
<b>事象の概要</b> (1)発生場所:機器 (2)発生の状況 (3)概要	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋:脱硝工程グローブボックス  グローブボックスのグローブ交換作業中  グローブの交換作業を実施していたところ、新グローブの取り付けが不十分であったことから、旧グローブの取り外しの際、新グローブがずれ、汚染が発生(作業エリア内のサーベイメータ等で汚染を検出) *他の建屋も含め同種の作業においても、同様な事象の発生が予想される。						
<b>事象による影響</b> (1)工場外への影響 (2)安全性への影響 (3)作業員への影響 (4)他工程への影響	<b>工場外への影響は生じない。</b> ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋換気設備が稼動している部屋の事象及びそれに伴う復旧作業であり、放射性物質の放出等の工場外への影響は生じない。  <b>安全上の問題は生じない。</b> グローブボックス内は室内より負圧が深くなっていることから、これ以上汚染が増大することはない、安全上の問題は生じない。  <b>作業員への影響は生じない。</b> 当該作業員については、異常被ばくがないこと、身体汚染のないことを確認し、万一身体汚染等が認められた場合は、直ちに汚染を除去することによって作業員への安全を確保することにより、作業員への影響は生じない。  <b>他工程への影響は生じない。</b> 汚染の除去を行うのに時間を要する場合は、当該作業が影響を受けるが、他の工程への影響は生じない。						
<b>対応の概要</b>	(1) グローブを正しい状態にセットする。 (2) 汚染の除去を行うとともに、ウランの体内への取り込みがないことを確認する。 (3) 定められた手順により汚染除去を行う。 (4) 除染後、再度放射能測定を行い、作業を再開する。						
公表区分	毎月集約して月1回公表(ホームページへ掲載)						
対応区分	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">(a)運転継続しながら復旧</td> <td rowspan="5" style="vertical-align: middle;">                 国際評価尺度 (INES)のレベル                  日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b>  </td> </tr> <tr> <td>(b)運転系統を切り替えて復旧</td> </tr> <tr> <td>(c)当該機器を停止して復旧</td> </tr> <tr> <td>(d)当該設備を停止して復旧</td> </tr> <tr> <td>(e)影響範囲の設備を停止</td> </tr> </table>	(a)運転継続しながら復旧	国際評価尺度 (INES)のレベル 日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b> 	(b)運転系統を切り替えて復旧	(c)当該機器を停止して復旧	(d)当該設備を停止して復旧	(e)影響範囲の設備を停止
(a)運転継続しながら復旧	国際評価尺度 (INES)のレベル 日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b> 						
(b)運転系統を切り替えて復旧							
(c)当該機器を停止して復旧							
(d)当該設備を停止して復旧							
(e)影響範囲の設備を停止							

